



新自由主義による賃金・労働条件の格差拡大に立ち向かう！08春闘集会

J R 総連青年協議会が集会

格差拡大に立ち向かう

J R 総連青年協議会は3月14日、東京・中野ZER Oホールで「新自由主義による賃金・労働条件の格差に立ち向かう！08春闘集会」を開催。新自由主義下での労働環境・労働条件、その社会的背景を掴むことを主眼に、連合非正規労働センターか

新自由主義による賃金・労働条件の格差拡大に立ち向かう！08春闘集会

JRU
青年協議会
全日本鉄道労働組合総連合会

ら龍井総合局長を来賓に迎え、K T X 乗務員支部組合員からの闘いの報告を交え、グリーンスタッフや女性の労働条件など諸問題をかかえる職場報告など、職場からの闘いの構築を目指す集会として創りあげ、成功をおさめた。



中里青年協議長

今春闘は、J R 東労組はベア 930 円で既に妥結をした。トヨタが昨年と同じ 1,500 円という少なすぎる要求で始まった。新自由主義に私たちがどれだけ苦しめられ、将来どのような労働環境になるのか考えてもらう集会にしたい。企業が生き残りをかけ、規制緩和による政策をおこなった。大企業がもてはやされ、しかし賃金は低水準のまま推移している。J R では、下請け、孫請けをおこなう工務や設備職場では、夜間作業はほとんどが外注によるアルバイトなどだ。正社員との格差は歴然。このシステムの中に私たちの生活がある。自分の職場の問題として捉え、サービス残業のオンパレードになってないか。解決しない根拠を明確にしていく必要がある。K T X の女性労働者に来ていただいた。韓国では新自由主義の犠牲者として闘っている。新自由主義政策下で同じ犠牲を出してはならないと闘っている。なぜ、それに向かわなければならないのかを語っていただく。J R 総連青年協は、反転・攻勢の闘いに決起しよう。

小田委員長

今春闘は、各単組とも職場から交渉を支え闘ってきた成果が出始めている。連合からは徐々に統一要求基準。しかし統一した闘いが出来ない限り勝ち得ない。J R 北海道労組では闘い方を再考。労働基本権の議論を通じ、スト生活基金の議論を開始するという。これから本番の闘いだ。十分に総括をおこなっていく。非正規の闘いは連合も大きな柱。道庁では人件費を7%、トータル15%もカットして、とても賃上げどころではない。これは北海道だけではなく、新自由主義による規制緩和が大きい。95年での1000万人の非正規はいまや1,700万人で30%を越えている。韓国では70%が非正規。規制緩和策に向かうこれまでの反省を踏まえ、闘わねばならない。K T X では400人の仲間が70人に減ったが、全労働者の問題として闘うと言っている。職場から国境を越えて新自由主義問題解決に取り組む。今年はそのスタートの年だ。4月から浦和電車区事件の控訴審の闘いも始まる。先頭で闘う。

I C L S キム・デフン執行委員

皆さんと日韓交流を開始して10年になる。今後の10年は皆さんが主軸だ。現在かかえている非正規雇用の問題は同じ労働者にかげられた問題だ。今後もさらに連帯し、闘わなければならない。

K T X 乗務員支部

韓国の新幹線「K T X」。経営は韓国鉄道公社によるが、その客室乗務員として働いているのは、「鉄道流通」という下請け会社の臨時契約社員。高い競争率をくぐり抜けて合格したが、開業の華々しさとは裏腹に、賃金の中間搾取や労務管理の厳しさなど派遣労働のことすら知らされず、悲惨な実態は想像以上だった。直接雇用と正規職化を求めて約2年前からストライキに突入。しかし、雇用契約期限切れを理由に全員解雇された。闘いに決起するまでは労組は「わがまま」なものだと考えていた。しかし闘って自分たちは変わっていった。ストを諦めることはできなかった。それは自らの生存権を諦めることだからだ。新自由主義をもたらししている社会全体の動向を掴まなくてはならないと感じた。闘いから連帯の大切さを感じてほしい。

J R 東労組女性協議会 大沼議長

グリーンスタッフの1,139名中、685名が加入している。2,700名いる女性組合員。制服の改善などを提言してきた。深夜業務の解禁により、女性が社会進出。しかし妊娠・出産で10%くらいしか残らない。50%が妊娠・出産すればどうするかかわらないと考えている。アンケートをもとに要求を集約し、さらに運動を創っていく。

(連合本部・非正規労働センター龍井総合局長のご挨拶、J R 総連・黒田組織部長からの集会まとめは紙面の都合上、割愛しました)